

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	第7回東小金井駅北口まちづくり協議会		
事 務 局 (担当課)	開発事業本部区画整理課		
開 催 日 時	平成22年5月18日(火) 19時00～21時00分		
開 催 場 所	小金井市区画整理課事務所内		
出 席 者	委 員	大沢昌玄・加藤常雄・佐藤伸朗・池亀吉信・大矢榮子 鴨志田春雄・高木 裕・土屋隆男・土屋晴彦・中村昭英・高橋清徳 立川 明・小島 義一・市川 裕	
	新都市等	高麗 誠・馬場勝彦・芳賀 稔・松下佳広・中村真弓	
	事 務 局	武田光一・高橋 智・梅原啓太郎・吉永浩一郎・原嶋 薫・日野靖久	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍 聴 者 数	2名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 開会 2 議題 駅前公園の整備イメージの検討 (駅前公園に導入する機能と配置について) 3 その他 4 閉会		
会 議 結 果	前回の協議会の主な議論のまとめ及び、駅前公園の整備イメージ(駅前公園に導入する機能と配置)について事務局より説明し、話し合いを行った。 次回協議会の開催日を7月16日に決定した。		
提 出 資 料	1.次第 2.資料1～3		

審議経過

- 会長 定刻になりましたので、ただ今から、第7回東小金井駅北口まちづくり協議会を開催致します。
- 今回から新年度になり、事務局の方に異動等があったようですので、新しい体制のご紹介をお願いします。
- 事務局 それでは、事務局の職員を紹介させていただきます。
- (職員の紹介)
- 配布資料の確認をさせていただきます。
- (配布資料等の確認)
- (資料1～3についての説明)
- 会長 今日は駅前広場と駅前の公園の二つについて議論します。ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。
- A委員 梶野公園の大きさは今とどう変わるのですか。
- 事務局 面積は約10,000㎡、現況より南側に少し広がる程度でほとんど同じです。
- B委員 公園をイベントに使うというのは、かつてはどのように使われていたのでしょうか。これからはどのように使いたいと思っていますか。
- 事務局 朝市、フリーマーケット、盆踊り、祭りの会場など、地域の方々の発案によっていろいろな使い方があると思っています。
- B委員 寒い時期のイベントに使うのなら、樹木は落葉樹がいいと思います。クリスマスのライトアップのようなことも考えていますか。
- 事務局 ライトアップをやっているケースもあります。どういう樹木がいいかは地域の方に考えていただきたいと思います。
- 会長 冬の行事としてクリスマスやお正月など、みんなで考えながらいい公園に育てていきたいと思っています。
- 今、梶野公園ではクリスマスの行事などをやっていますか。
- 事務局 今は何もやっていません。
- 事務局 住宅街の中にあるので、梶野公園そのものの存在もあまり知られていませんでした。今後は都市計画道路に面するので、開放的なイメージになると思います。
- 会長 梶野公園にある自然のものは自然のまま残して、駅前公園は都会的な雰囲気を出したいということですか。
- 事務局 梶野公園は用途的には住居系、駅前公園は周りが商業系で、交通広場に人も集まるので雰囲気が違ってくると思います。
- C委員 交通広場の最終的な案はどうなったのですか。
- 事務局 交通広場については、線形については概ね方向性が出来ていますが、歩道の舗装などについては駅前公園や都市計画道路との整合性もあるので、まだ決まっていません。
- 会長 次回改めて、駅前広場の整備内容を公園と駅前広場との関係を一体でわかりやすく説明してほしいです。
- D委員 梶野公園ではゲートボール等、ちょっとしたスポーツをやってもいいのですか。
- 事務局 梶野公園は環境政策課で管理しています。ボール遊びについては確認していません。

傍聴者① 私はワークショップに出ているので経緯を知っていますので説明します。多目的広場はゲートボール1面がとれるようになっています。ゲートボールに限らず、親子のサッカーやキャッチボールなどは許容されるということです。

D委員 駅前通りに都市ガスが入ってないのですが、どうなりますか。

事務局 下水、水道、ガスについては区画道路や都市計画道路には全て入ります。

D委員 みんなで現場に行って図面を見ながら説明してほしいです。なるべく早い時期にやったらいいと思います。

事務局 それは可能です。

会長 日程ややり方は事務局で考えて、実現させて下さい。

C委員 今年度の工事計画はどうなっているか、地権者に知らせて下さい。

事務局 いつも7月ぐらいにまちづくりニュースでお知らせしています。

今年は都計道の部分と、駐輪場を閉鎖して区画道路をつくるのと、駅前の南北の20m道路と交通広場の工事を引き続きやります。市の方針としては、20m道路と交通広場を一刻も早くやっていきたいと思っています。

7月頃に向こう3カ年のことと一緒に施工箇所をお知らせします。

E委員 せっかく駅前にいい空間ができるので、小金井らしい他市に無いものにしてもらいたいです。しっとり、静かで落ち着いた、緑の多いまちということで、武蔵小金井の広場の乾いた感じよりは、しっとりとしたイメージのほうがいいと思います。針葉樹を植えてライトアップするような、他市でもやっているようなことは避けてほしいです。

小金井公園の入口というイメージで、大きいサクラを2、3本植えるとか、中木以上の木を30本ぐらい5~10mぐらいの間隔で植えて、木陰のあるような他市に無い駅前広場が出来ればいいと思います。

会長 小金井公園の入口という位置付けはコンセプトとして大事だと思うので、上手に使ってほしいと思います。奥に大きな公園があって、緑道が結んでいくというのはひとつの言い方として大事なことだと思います。ぜひ参考にして考え方を整理していきたいと思います。

A委員 最初は梶野公園に緑があれば、駅前公園には少なくともいいかと思いましたが、CG等をみると緑があった方がいいと思いました。ただ、芝生が多い案は住民管理でなければいけない、つまりC案と住民管理はセットになっているのでしょうか。

事務局 芝生と草地では維持管理が相当違います。例えば第二小学校の校庭の芝生では管理業者もやっていますが、主にクラブ活動の生徒が毎日やっていると聞いています。

梶野公園と同じ将来管理者から、草地ということで、芝生にこだわらないでやってほしいという要望を強く受けています。梶野公園でも草地ということでやっていますが、ワークショップの中で維持管理の話が出て、市のほうでも維持管理はしますが、より細かな維持管理は住民が行なうという話を聞いています。

草地にもメリットはありますが、イメージが一番大事なので、よりいいものという話となるとそういう工夫も必要になってくるのかと思います。

A委員 C案が一番いいという事になったときに、地域の人がやるという条件という事ではないということですか。

事務局 維持管理部門としては芝生という形に限定されると非常にきついものがあるとい

う事は言っています。

会長 全国各地で自治体が整備した後の維持管理をもっと合理的にできないかという動きが活発なので、大沢さんのほうからお話をさせていただきます。

F委員 高齢化社会になるとそっちにお金を使わざるを得ないので、行政にお金が無くなります。

自分達で使うものは自分達で管理した方が愛着が出ますが、行政任せにすると段々愛着が薄れていってしまいます。金沢の場合では区画整理の協議会の人達が組織を維持したまま、年に何回か集まって維持管理をしています。千葉にある鎌ヶ谷の駅前では地元のまちづくり組織が維持管理する前提で設計をしています。

こういったエリアマネジネントがスタンダードになりつつあります。

会長 国土交通省の会議でも、国の方から地方自治体を作ったものを住民の皆さんが管理する方向性を探っていただきたいという話をされました。

東京都の事例と今後の対応としてどのようなものがあるか紹介して下さい。

G委員 汐留は昔はJRの貨物駅があるだけの倉庫街でしたが、そこで仕事をしていた人達が自分達のまちづくりをしようと考えて、東京都のほうに自分達が街の管理をするから予算を分けてほしいと言いました。都は維持管理費として立てた予算を渡して、地元はお客さんをもっと呼ぼうということで意欲的に維持管理をしています。

会長 先ほど小金井らしさと言う話がありましたが、整備だけでなく維持管理面でも小金井らしさがあっていいと思います。

教育の話が出ましたが、小学生が来て喜ぶ場所、梶野公園も含めてそういう公園ができれば、新しい小金井の力の発揮しどころと言えるかもしれません。

急にやれといってもなかなかできないので、協議会の中で興味がある人、リーダーになりたい人が率先してやっていけば、それがひとつのきっかけになるのではと思います。道に朝顔を植えたり、水を撒いたりということは江戸時代からやっていたのにだんだんやらなくなってしまいました。自分達でやらないで行政に任せてしまう風潮が続きました。公共空間を生かすために地域で知恵を出そうということがあちこちで議論になっています。

この協議会はみんなで議論する場になっていますけども、さっき現地調査をするという話もあったように、泥をいじるというのも考えてもいいのかなと思います。

B委員 公園や広場をどういうふうにするかというのは、地権者にとって大きな夢だと思います。小金井駅は小金井公園の玄関口ということで、小金井公園の植物のいくつかを交通広場や駅前公園に植えてほしいです。小金井公園にはたくさんの種類のサクラがありますが、全部植えるわけにはいかないの、そろそろサクラが咲く頃を知らせる意味で、サクラより先に咲くウメやロウバイ、サンシュユを植えてほしいです。

浴恩館に安藤広重の絵がたくさんあってびっくりしました。隣町に住んでいても知らなかったの、なんとかPRしたいと思いました。花小金井にある観光案内版のような絵地図で、小金井公園以外にも紹介できたらいいと思います。

会長 人を誘導するサイン計画というのがあるので、後に議論します。

H委員 交番は駅のほうにできるという話ですが、駅前公園には何かハコモノ（建築物）の計画はありますか。

事務局 建築物の計画は今はありません。

H委員 自然のままなので、建てないという計画ですか。

事務局 都市計画公園という事であり建てられません。管理棟等は考えていません。

会長 面積も小さいので、梶野公園にトイレがあればそっちを使ってもらったほうが効率が良いでしょう。トイレは防犯上の処理や維持管理が大変です。

I委員 駅前公園はやさしい雰囲気ということで、緑が多い方がいいと思います。管理の面がクリアできればC案に近いような、座ってのんびりしたくなるような公園がいいと思います。夏には日陰があった方がいいのである程度の樹木が必要だと思います。紅葉のライトアップは近辺であり見ないですし、落葉樹は葉が落ちた後に飾りつけもできるのでいいと思います。管理の面では毛虫がでたときに消毒をまくのはきびしいかなと思います。ほっとするような公園ができればいいと思います。

会長 ほっとする場所というのは大事なことだと思います。エリアマネジメントで、例えばゲートボールの後に次の人がやれるようにちゃんとして帰るとするのがスタートだと思います。そういう可能性は小金井にはありますか。

I委員 自分は農業をやっていますが、手伝いに来た人に草むしりが楽しいと言う人がいて意外でした。

会長 がんばった結果綺麗になったというのがわかるのが楽しいのでしょうか。梶野公園や駅前公園で小さい子供でも遊んだ後に自分で泥んこも落として帰るとか、そういうのが教育かなといつも思っています。どうも忘れられがちなのが寂しいです。

I委員 五日市街道沿いのアジサイがいつも綺麗なものでどうやって管理しているのかと思っています。

事務局 三宅島との提携で植えたものです。

傍聴者① 第1次、第2次とワークショップに出ていますので、いままでの流れの中からお話しします。

北の小金井公園、南の野川公園、武蔵野の森公園を繋ぐ緑の回廊ということで位置づけられていて、その玄関口である北口の駅前公園という意味合いからすれば、武蔵小金井駅のような無味乾燥なものではなく、水と緑の小金井市というキャッチフレーズに相応しいものでなければならないと思います。

さっき芝生は手がかかるので勘弁してほしいという話があったようですが、梶野公園のワークショップの中で花壇を作って、それを好きな人達がグループを作って管理するというを実際に始めています。サクラやケヤキなど街路樹を植えたときに落ち葉が大変だというのではなくて、みんなで街を綺麗にしていきたいです。芝生にしても、そこに来る人が自発的に雑草を抜いていくように、みんながやっていくようなものにしないでほしいと思います。そういうことの体系を作らないと消えてしまうので、梶野公園ではワークショップの中でやっています。

梶野公園に緑があるのでこっちは違うのでいいという意見には賛成できません。向こうは防災公園ということもあって、何も無いただの野原ということをやっています。こちらは駅前公園ということで位置付けは違ってもコンセプトはひとつにするべきです。

地域の振興という事から考えると、駅前イベントをするときに、いろいろな事をする事を考えると舗装より芝生の方がいいと思います。

みなさんC案に対する支持が強いと思いますが、地域の町おこしとしても汎用性の高い選択をすべきだと思います。

J委員 一度やってみて、後から変える場合でも舗装だと大変だと思います。

会長 お金がかかるかどうかという予算の問題もありますが、維持管理の住民参加の可能性はどうでしょうか。

J委員 これから建てられるビルに入る人達ですとか、商店街や町会と一緒に案を出して、みんなに協力してもらう形をとるのがいいと思います。

会長 管理運営についてはそれなりにみなさんご理解がありそうなので、今回は汐留も含めて事例を集めて話をしたいと思います。

事務局 街区公園を北側から駅のところを持ってきたということで、2次の協議会で話があった「賑わい」ということをどう捉えるかで苦慮しました。2次のときのイメージを損なわない形でどう具現化するか、頭を悩めています。

将来管理というのは完成してから考えるのではなくて、作る段階からある程度の事は考えていただきたいと思います。金がかかるからやめるというのではなくて、金がかかるけれどどうするか、知恵を借りたいと思っています。

K委員 駅前公園の周りにはフェンス等は一切しないで、自由に出入りできるようにするのはですか。

事務局 梶野公園では自転車は入れるけどバイクは入れないという形で入口を工夫しています。ここは人が多く集まる場所なので、境をつけるのはどうなのかということは今考えています。しぼりは無いので、駐輪対策など必要に応じて対策は考えます。

K委員 柵をつけたことによって、そこに自転車を括り付けられることもあると思います。

会長 自転車は困った問題も多いです。あまりいかめしい塀を作るのもどうかと思うし、安全性の問題もあるので、予算と吟味しながら検討していきたいと思います。この問題についてはもう少しみんなで議論します。

L委員 子供の目線で作ったほうが本当のやさしいまちづくりができると思います。学生や元気な人の目線では違うものができてしまうと思います。

M委員 C案のように草地があった方がなごめるし、木がもう少しあってもいいと思います。私どもの店の前にあるので、緑が目映ればなごみます。

会長 建物を建てるときに公園に建物を合わせるような設計指示をしてほしいと思います。周りの土地を持っている方々が前の公園に合った建物を建ててもらいたいようなことが大事だと思います。

M委員 私も建物に対しては緑に合うようなものが好きなので、そうしたいと思います。

会長 みなさんが公園をきっかけにしていろいろなことを考えようとされています。

C委員 梶野公園の維持管理の中で、人件費はボランティアでということですが、花や肥料など材料費はどうしますか。

傍聴者① ワークショップの中では、一定額を市で持っても維持管理のコストに比べればたいした額ではないということです。

C委員 それを自分達で負担するのか、市で負担するのかはっきりさせたほうがいいと思います。

傍聴者① 梶野公園の今年度の整備では、いくらの花を買ってどうするかというところまでは話が詰まっています。方向性としてはこれから募集する花壇ボランティアの中

で、こういうことをやりたいというのが上がってくれば、市の予算から出します。

会長 里親制度と言って、通常の支出で必要なものは市の方から渡すのが普通です。

C委員 年間予算を請求するのですか。

会長 いろいろな方法がありますが、行政がどういうふうにお金を出すか苦勞する場合があります。税金相当分を返すことで肥料代とする自治体もあります。工夫次第で小金井らしさが出せると思います。協議会でこういう意見があったという事を市の本庁のほうに言って、そんなに急に答えが出ないと思いますが答えが出たときには交渉して、成果が出るといいと思います。

傍聴者② 駅前公園について職場の女性に聞くと、有楽町のような大時計があったり、動く機関車のような子供が遊べるようなものがないと、小金井公園があるのにわざわざ駅前に集まることもないし、友達同士で待ち合わせにしてもそこに集まることはまずないという意見がありました。できれば駅前には公園よりもスーパーがあった方が嬉しいし、人も集まるとも言っていました。緑を無くせという事ではなくて、例えば、スーパーがあって、カフェテラスがあって、緑があった方が人が集まりやすいんじゃないかと思います。この街にはお昼を食べる場所が無いので、学生はピーコックの方まで行っています。駅前に主婦達が帰りがけに寄るようなスーパーありません。スーパーを作ったほうが人が集まりやすくなるし、住みよくなるんじゃないかと思います。

会長 商業系の話はありますか。

事務局 商業地域は駅前広場の東と西には少ししかありません。ただ北側にかなり面積の大きい場所があります。そこに配置される人達から、核となる物がほしいという話をよく聞くので、住民の中にもそういう思いがあるのかなと思います。

会長 せっかく基盤が整うわけなので、沿道景観も含めて夜も元気な小金井にしたいと思います。

F委員 公園というのは最初から完成形で出来る訳ではないので、最初から成木を植えるのではなく、幼木を植えて育てれば成長する楽しみがあり、愛着もわくと思います。

G委員 維持管理の話がありましたが、新たな担い手という話があります。ひとことで地元の人と言いますが、実際には誰なのかというイメージをしておいた方がいいと思います。商店街、子ども会、学生など、いろいろな人がいろいろな事をできますと思います。町内会や商店会でも議論していただいて、何をどうできるか具体的にイメージしていただきたいと思います。

会長 お二人の意見をまとめると、行政の方としてはつらいこともありますが、作って終わりという事ではなくて、それを大前提にして、このまちづくりはみんなが参加してみんなが管理運営に携わるといふ新しい趣向を更に充実させていくというところがひとつのテーマだと思います。

子供達も含めてみんなが管理していくためのまちづくり読本なんかを作るといいと思います。そういうことも含めて前向きに考えていくというのが今日の大きな成果かなと思いました。

事務局 次回協議会は7月16日金曜日を予定しています。

会長 次回は市民による管理運営のイメージのようなものを作ってもらって議論しながら、芝生にしたらどうなるのか、草地にしたらどうなるのかというようなことを計

画段階から議論したいと思います。

今日は遅くまでどうもありがとうございました。以上をもちまして協議会を終了させていただきます。

以上